

人がまんなかにいる町を創りたい。



昭和31年に誕生した現在の伊達町。県内市町村の中で、面積が一番小さいながらも、豊かな自然の恵みを生かした果樹栽培が盛んで、県を代表する“くだものまち”です。また、交通の利便性も非常に優れ、それが経済振興にも大きな役割を果たして、年々発展を遂げてきました。近年は、県都・福島市の近郊都市としての機能を備えつつ、21世紀に向けて新たな飛躍の途を歩み出しています。

現在、本町では『人が輝く町づくり』をテーマに、各般にわたる施策を展開しています。ゆとり、生きがい、安らぎ…といった心の豊かさが何より求められる時代の中で、町に暮らす人のほんとうの幸福を追求していきたい。そんな願いで、「人」を中心とした町づくりを進めています。

その大きな柱になるのが、本町独自の「生涯学習推進運動」です。これまで、生涯学習と言えば、“勉学”と

伊達町長 富田 健一郎

昭和15年生まれ。趣味の読書は特に推理小説の大ファンで年に30冊以上も。個人的には、遠い将来、どこか海外の大学に聴講生として留学してみたい、という夢を持つ町長です。